

第27回学術集会プログラム

「診断・検出技術の新展開～社会実装をめざして～」

健康寿命の延伸に向け早期発見・早期治療の重要性が指摘される中、最先端技術を活用した高度な診断・検出技術に対するニーズが益々高まっている。たとえば抗体エンジニアリング技術の活用で、伝統的な診断技術はその守備範囲を広げ、かつより高感度な診断が可能になってきている。また次世代シーケンサーとバイオインフォマティクスの進歩は精度の高いコンパニオン診断を可能にし、さらに近年のオプトエレクトロニクスの発展によるイメージセンサーの高性能化は新たなイメージング装置を実現している。本学術集会では、先端技術の発展を通じて診断・検出の新たなパラダイムが開かれつつある現状と、それらの社会実装について議論していく。

■期日：2022年（令和4元年）6月3日（金） 13:00～17:10（受付 12:40～）

※ 開始時間ご注意ください。

■会場： オンライン

■プログラム

13:00-13:20 総会

第一部（座長：瀬尾秀宗（東京大学大学院総合文化研究科））

13:20-13:25 開会の挨拶 学術集会長 太田邦史（東京大学大学院総合文化研究科）

13:25-14:10 講演1 「遺伝子組換え抗体の単離・改変・固定化技術の開発」
熊田 陽一（京都工芸繊維大学分子化学系 准教授）

14:10-14:40 講演2 「新規臨床的有用性を有する検査薬の開発」
青柳 克己（富士レビオ株式会社取締役 研究開発本部長）

14:40-15:10 講演3 「ワンチップ顕微観察による発光イメージング」
上野 宗一郎（株式会社 IDDK 代表取締役）

15:10-15:40 講演4 「高感度肺がんマルチ遺伝子 NGS パネルの開発と低侵襲細胞診パネルの有用性」
佐藤 慶治（株式会社 DNA チップ研究所取締役 診断事業部）

15:40-15:50 休憩

第二部（座長：三宅司郎（麻布大学生命・環境科学部食品生命科学科））

15:50-16:50 特別講演「抗体作り 40 年余：次世代の実用免疫測定法を目指して」
小林 典裕（神戸薬科大学 教授）

16:50-17:05 総合討論
司会 瀬尾秀宗（東京大学大学院総合文化研究科）

17:05-17:10 閉会の挨拶
上田 宏（東京工業大学 科学技術創成研究院 化学生命科学研究所 教授）

■参加費： 無料（*要旨集はダウンロード版として提供します。）

※お願い：法人会員様及び個人会員様には、要旨集より詳細な発表資料を年報として後日、配布いたしますので、是非本研究会へのご入会を検討下さい。詳細は、事務局までお問い合わせください。

■申込み：今回は、オンラインセミナーのため、事前参加申し込みが必要です。

申込期限は 5月 30日（月）

※ 申し込み後、参加証／講演集メールによる送付します。オンラインの場合には、無料となります。

問合先：生物化学的測定研究会事務局（担当：中村）

〒523-8555 滋賀県近江八幡市北之庄町908番地

株式会社日吉内

TEL：0748-32-5001 FAX：0748-32-4192

E-mail：basi@hiyoshi-es.co.jp

HP：<http://www.basi.info>

参加申込

(1) FAX での申し込み

下記必要事項を記入して事務局へFAX 送付 (0748-32-4192)

(2) E-mail での申し込み

下記必要事項を記入して事務局へE-mail 送付 (basi@hiyoshi-es.co.jp)

(3) 申込時の必要事項 (記載例)

生物化学的測定研究会第27回学術集会の参加を申し込みます。

会員種別 : 会員 (個人・法人)、非会員

情報交換会参加 : 参加、不参加

氏名 :

勤務先 :

郵便番号 :

住所 :

TEL :

FAX :

E-mail :

*参加費は当日受付でお支払い下さい